

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティ・オブ・ライフ久留米支援教室				公表日	2026年4月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用人数に応じて活動グループを分け、過密にならないよう空間と時間を調整している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	個別支援が必要な児童には担当を明確化し、役割分担で質を補完している。	不足している。1名追加予定。個別対応が必要なお子さんへの支援がより充実するためにも人数調整だけでなく、支援員の量の充実も必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	クローズの落ち着いた空間が十分に確保されている。また、視覚支援（スケジュール・構造化表示）を活用し、安心して過ごせる環境設定を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	帰りの会前には、児童は雑巾がけをしている。児童送迎後は、毎日の清掃に加え、消毒や整理整頓を徹底し、衛生管理を継続している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンスペースを確保し、感情調整が必要な際に個別対応できる環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	月次で目標確認と振り返りを行い、PDCAを可視化して共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	モニタリング前、個別の支援計画前の会議、ケース会議等を通じて職員全員が情報共有する		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼、終礼時に全体の振り返りを行う。支援内容での疑問もそこで解決できるようにする。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	現在は未実施だが、本部移行後も第三者機関の活用を前向きに検討し、客観的視点を取り入れることで支援の質向上につなげる方針である。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	都度、教室内研修は年間計画で実行されている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを文書化し、保護者が確認できる形で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	フォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントは朝礼、終礼時、ケース会議で実施。記録を丁寧に残すことで情報の共有、支援の一貫性に努める。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	ケース会議を通じて多職種視点で検討し、最善の利益を優先している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	特に新規利用者に関しては、時間をかけて情報共有		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	標準化ツールと日々の観察記録を併用し、変化を数値とエピソードで把握している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	本人支援・家族支援・移行支援・地域連携を意識し、偏りのない計画立案を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	役割を明確化している。活動担当を決め、準備段階から複数名で検討している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日、運動遊びか工作の小集団での活動を実施。 その日に来る子供の得意、好きを活かしつつ
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別課題と小集団活動をバランスよく配置している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼時には必ずホワイトボード等で視覚化し役割分担を視覚化、明確化している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	職員が個々に気になったことをその場で解決できるように終礼をしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	療育支援システム「HUG」を使用。業務効率化を図っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期モニタリングに加え、変化があれば随時見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	何より、「自分でできることは環境を設定して安全に効率的にできるようにしている」
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	毎日のおやつ、遊具での遊びは選択肢から自分で適切に要求するようにする。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童の特性を十分理解している担当者が必ず参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要時には医療・教育機関と直接連絡を取り合う体制を整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時の口頭共有と記録で二重確認を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	移行前事業所から情報提供を受け、支援の連続性を確保している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	移行時には支援サマリーを作成し、円滑な引き継ぎを行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	児童発達支援センターへ相談できる体制を整えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	地域行事情報を収集し、参加可能な機会を検討している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	定期的に行われる協議会（子ども部会）で得た情報を事業所内で共有している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳・送迎時の対話・面談を通して多面的に共有している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	家庭で実践しやすい関わり方を具体的に提案している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に丁寧な説明を行い、書面でも確認できるようにしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	計画作成前に意向確認を行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援内容は具体例を示して説明している。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて個別面談時間を確保している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者同士の交流機会を定期的に設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情受付窓口を明確にし、迅速対応を徹底している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	通信・SNSで活動内容を定期発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き保管・データ管理で情報保護を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚資料や簡潔な文書で分かりやすい説明を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後は地域住民参加型行事を企画し、地域に開かれた運営を目指す。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを整備し、定期訓練を実施している。	家族への周知が行き届かない場合がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し、災害想定訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時・定期確認で健康情報を更新している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時のアセスメントで詳細確認。該当する場合は代替のおやつを準備	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画に基づき研修・点検を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画の内容を保護者へ文書で周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月、ヒヤリハットを記録し、再発防止策を全員で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を年次実施し、チェック体制を整えている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束は原則行わず、必要時は事前説明・記録を徹底している。		